

< 地場産農産物の加工・販売を実施している事例 >

熟年パワーが都市交流の発信源

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県周南市片山 <small>しゅうなんしかたやま</small>			
協定面積 8.1ha	田(100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻・大豆等			
交付金額 69万円	個人配分			45%
	共同取組活動 (55%)	役員手当		1%
		体制作りに向けた活動		2%
		維持管理作業		3%
		担い手支援金等		8%
堆肥の施用		41%		
協定参加者	農業者 15人、法人 1人、非対象農家 7人			

2. 取組に至る経緯

片山集落は、市の山間部に位置し、高齢化の進行と後継者不足のため、農業生産活動の中心は、60～70歳代である。中山間地域等直接支払制度（第1期対策）が始まった当時は、元気なうちは、自分達で何とか集落内の農地を守ろうと考え、話し合いもスムーズに進んだことから、制度に取り組むこととなった。

3. 取組の内容

片山集落がある大潮地区には、地区内の7集落で取り組んでいる直売所「大潮田舎の店」があり、地場産野菜や、直売所で加工された豆腐や寿司・弁当は、地域をはじめ、都市住民の間で人気商品となっている。また、地域の美化に努め、大潮田舎の店を中心に、ルーラルフェスタなどに参加し、都市住民との交流に努めている。

農業生産関係では、平成19年10月に近隣の3集落で、営農組合を立ち上げ、機械の共同利用と作業委託も進めている。



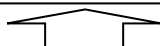
都市住民との交流（彼岸花の植栽）



交流によるよもぎの加工

[集落の将来像]

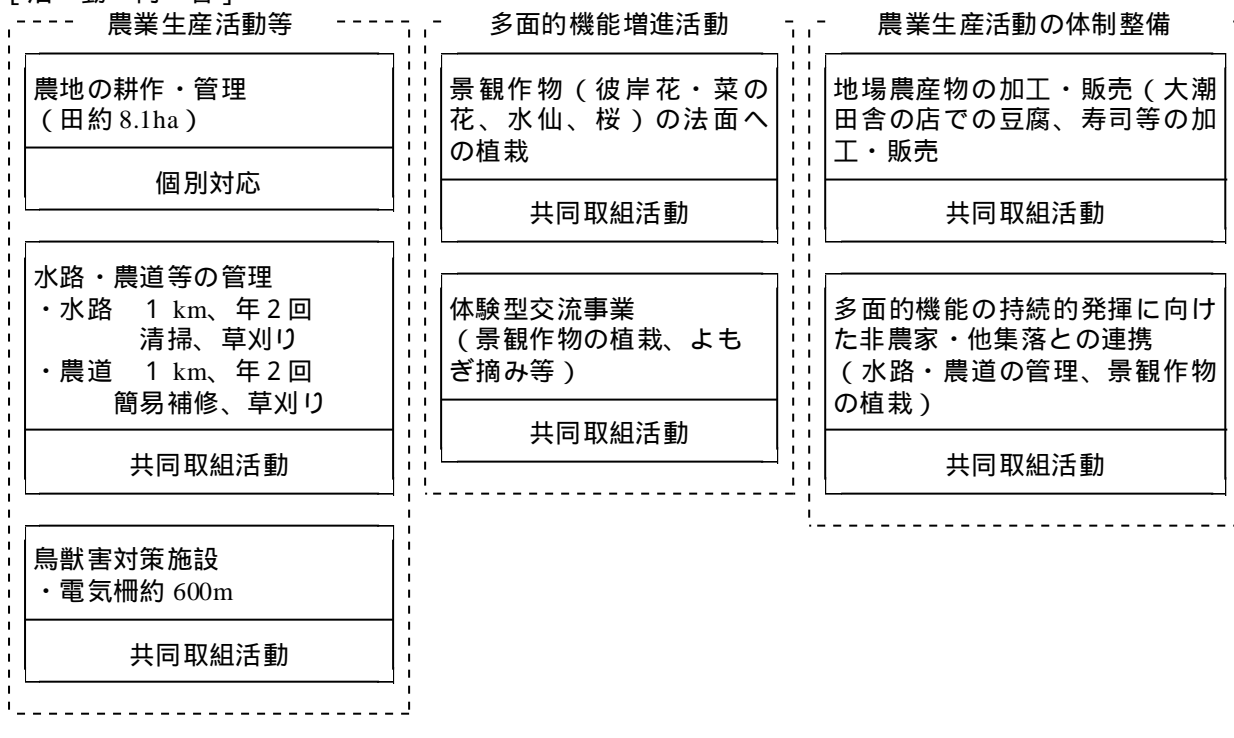
非農家・非対象農家との連携による多面的機能増進活動と地域の実情に即した持続的な農業生産活動等の体制整備



[将来像を実現するための活動目標]

交付対象農家、対象農家の役割や連携のあり方を明確化し活動を展開する。
周辺集落と連携し、田舎の店を中心に農産物の加工・販売に取り組む。

[活 動 内 容]



集落外との連携

大潮地区7集落での「大潮田舎の店」を中心としたそば打ち、餅つき等都市農村交流

4 . 取組による変化と今後の課題等

直売所での取組は、平成元年から地元の女性有志でスタートし、平成 14 年に現在の形になった。市内の比較的近い所に住んでいる他出した後継者家族も集落行事に参加するようになり、集落の農地保全についても、話し合いができるようになり、集落の活性化につながった。

今後は、ますます高齢化が進行していく中、他出した後継者との連携や他集落との一層の連携強化をどのように具体化していくかが、課題である。

[平成20年度までの主な成果]

近接 3 集落による営農組合の立ち上げ(平成19年10月)
堆肥製造のためのストックヤードの建設(平成20年)
協定農用地への堆肥の施用(H20年度実績、8.1ha)